



平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月14日

上場取引所 東

上場会社名 ヤーマン株式会社

コード番号 6630 URL <http://www.va-man.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 貴三代

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 宮崎 昌也

TEL 03-5665-7330

四半期報告書提出予定日 平成24年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	14,800	2.0	968	△28.6	971	△27.1	547	△25.4
23年4月期第3四半期	14,509	4.4	1,355	18.5	1,333	28.6	733	25.9

(注) 包括利益 24年4月期第3四半期 544百万円 (△26.7%) 23年4月期第3四半期 743百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	93.82	—
23年4月期第3四半期	251.57	—

平成23年4月期第3四半期の1株当たり四半期純利益は、平成23年3月1日付の株式分割を考慮しておりません。詳しくは、「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	9,837		6,035			61.4
23年4月期	11,381		5,703			50.1

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 6,035百万円 23年4月期 5,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	23.00	—	18.50	41.50
24年4月期	—	18.00	—		
24年4月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年4月期の中間配当は、平成23年3月1日付の株式分割を考慮しておりません。詳しくは、「(参考)株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,020	12.0	2,017	16.9	1,939	14.1	1,113	18.3	190.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期3Q	5,834,888 株	23年4月期	5,834,888 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年4月期3Q	116 株	23年4月期	116 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期3Q	5,834,772 株	23年4月期3Q	2,917,394 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 平成23年3月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正

平成23年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割が前連結会計年度の開始の日(平成22年5月1日)に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

1. 1株当たり四半期純利益

(連結)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	93.82	—
23年4月期第3四半期	125.78	—

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	11.50	—	18.50	30.00
24年4月期	—	18.00	—		
24年4月期(予想)				18.00	36.00

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	・ ・ ・ ・ ・	P. 4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	・ ・ ・ ・ ・	P. 4
(2) 追加情報	・ ・ ・ ・ ・	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	・ ・ ・ ・ ・	P. 7
四半期連結損益計算書	・ ・ ・ ・ ・	P. 7
四半期連結包括利益計算書	・ ・ ・ ・ ・	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	・ ・ ・ ・ ・	P. 9
(4) セグメント情報	・ ・ ・ ・ ・	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	・ ・ ・ ・ ・	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成24年1月31日)における世界経済は、欧州での財政危機問題が依然として払拭されず、中国を中心とするアジア諸国も経済成長のペースは鈍化しました。一方、国内経済は、夏の電力規制や円高の長期化等不透明感があったものの、東日本大震災の影響による流通不安は解消されつつあり、個人消費も僅かながら持ち直しの兆しが見られました。

そうした中、当社グループの属する美容健康関連業界は、「おうちエステ」の浸透による個人消費の拡大や、家電各社における美容健康関連商品の取扱い拡充など急速な市場成長を続けており、マスコミ各社や市場調査会社等からの注目度も上がっております。

このような状況の下、当社グループは、化粧品分野で「オンリーミネラル」の商品ラインナップ拡充や期間限定企画等の積極的な展開により安定的に売上げを伸ばしたほか、ウェルネス家電・フィットネス器具分野では「イオニックプロターボ」を中心にインフォーマーショナルによる広告宣伝を積極的に展開した結果、前年同期実績を上回る売上高を達成いたしました。

一方、利益につきましては、売上の伸長に伴い売上総利益は増加したものの、急成長する業界において市場優位を獲得するため、当社ブランドの認知度向上に向けた種々の広告宣伝施策を積極的に行ったことから、営業利益は前年同期実績を下回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,800百万円(前年同期比2.0%増)、経常利益は971百万円(前年同期比27.1%減)、四半期純利益は547百万円(前年同期比25.4%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

靴やバッグ等のアパレル系アイテムがショッピング専門チャンネルを中心に堅調に推移した他、痩身器具の新商品「アセチノセルビー」が地上波通信販売で好調であったことから、売上高は5,016百万円(前年同期比0.8%増)となりました。一方、セグメント利益は、比較的利益率の低いアパレル系アイテムの占める割合が高まったことなどから、1,743百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

②店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

堅調に推移している化粧品「オンリーミネラル」シリーズのバラエティショップ向け限定企画等が好評で、大きく収益獲得に貢献しましたが、秋口よりオフシーズンを迎えた「no!no!HAIR」シリーズが伸び悩み、売上高は4,496百万円(前年同期比11.0%減)、セグメント利益は1,973百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

③直販部門

直販部門では、インフォマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

化粧品「オンリーミネラル」シリーズが、各広告媒体で好調に推移し、リピート顧客による下支えもあり、売上高は5,157百万円（前年同期比21.1%増）となりました。一方、セグメント利益は、中長期的な視点から当社ブランドの認知度向上を目的とした広告宣伝支出を広く女性向けファッション誌や新聞、地上波テレビ等で積極的に行ったことから、13百万円（前年同期比91.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,543百万円減少し、9,837百万円となりました。受取手形及び売掛金の減少1,538百万円、商品及び製品の減少143百万円、原材料及び貯蔵品の増加189百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,875百万円減少し、3,801百万円となりました。支払手形及び買掛金の減少558百万円、未払金の減少222百万円、未払法人税等の減少326百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少607百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ331百万円増加し、6,035百万円となりました。四半期純利益の計上547百万円及び剰余金の配当212百万円による利益剰余金の増加334百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期におきましては、本格的なシーズンが到来する脱毛器「no!no!HAIR」シリーズの店舗向け拡販、通年で堅調に推移している化粧品「オンリーミネラル」シリーズの限定企画の積極展開など収益拡大に注力し、費用面では増加傾向であった広告宣伝支出の効率化を図ることにより、平成23年6月14日公表の業績予想達成に尽力する所存です。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)
税金費用の計算 税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,119,003	3,047,056
受取手形及び売掛金	3,127,098	1,588,250
有価証券	50,037	50,061
商品及び製品	3,543,346	3,399,560
仕掛品	5,794	77,767
原材料及び貯蔵品	314,850	504,829
その他	209,726	194,795
貸倒引当金	△27,524	△2,515
流動資産合計	10,342,332	8,859,805
固定資産		
有形固定資産	556,788	549,058
無形固定資産	340,287	313,023
投資その他の資産	141,708	115,321
固定資産合計	1,038,783	977,404
資産合計	11,381,115	9,837,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,348,763	789,921
1年内返済予定の長期借入金	752,911	533,985
1年内償還予定の社債	190,000	190,000
未払金	1,340,333	1,118,260
未払法人税等	389,515	62,838
賞与引当金	25,000	13,750
返品調整引当金	129,744	101,920
その他	108,026	96,154
流動負債合計	4,284,295	2,906,830
固定負債		
社債	195,000	100,000
長期借入金	1,158,630	769,905
その他	39,410	24,910
固定負債合計	1,393,041	894,816
負債合計	5,677,336	3,801,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	2,575,424	2,909,861
自己株式	△100	△100
株主資本合計	5,702,915	6,037,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969	△1,789
繰延ヘッジ損益	△105	—
その他の包括利益累計額合計	863	△1,789
純資産合計	5,703,779	6,035,563
負債純資産合計	11,381,115	9,837,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
売上高	14,509,836	14,800,533
売上原価	5,826,506	5,831,452
売上総利益	8,683,329	8,969,080
返品調整引当金戻入額	140,676	129,744
返品調整引当金繰入額	109,063	101,920
差引売上総利益	8,714,942	8,996,905
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,738,604	4,384,186
給料及び手当	435,231	443,787
賞与引当金繰入額	12,500	13,750
減価償却費	42,602	68,928
研究開発費	110,841	91,155
その他	3,020,038	3,027,017
販売費及び一般管理費合計	7,359,818	8,028,825
営業利益	1,355,123	968,080
営業外収益		
受取利息	2,840	793
受取配当金	541	472
為替差益	32,464	3,277
貸倒引当金戻入額	—	25,009
保険解約返戻金	—	21,313
その他	6,947	8,902
営業外収益合計	42,793	59,769
営業外費用		
支払利息	46,403	40,198
支払保証料	3,063	10,513
その他	14,587	5,193
営業外費用合計	64,053	55,905
経常利益	1,333,864	971,944
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,916	—
特別利益合計	7,916	—
特別損失		
固定資産除却損	9,069	6,767
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,937	—
子会社整理損	20,483	—
特別損失合計	37,490	6,767
税金等調整前四半期純利益	1,304,290	965,176
法人税等	570,352	417,771
少数株主損益調整前四半期純利益	733,938	547,405
四半期純利益	733,938	547,405

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	733,938	547,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△2,758
繰延ヘッジ損益	—	105
為替換算調整勘定	9,647	—
その他の包括利益合計	9,680	△2,652
四半期包括利益	743,618	544,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743,618	544,753
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,974,919	5,051,543	4,259,425	14,285,888	223,947	14,509,836	—	14,509,836
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	184,461	184,461	△184,461	—
計	4,974,919	5,051,543	4,259,425	14,285,888	408,409	14,694,297	△184,461	14,509,836
セグメント利益	1,835,325	2,189,460	164,813	4,189,599	129,088	4,318,688	△2,963,564	1,355,123

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,963,564千円には、セグメント間取引消去9,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,972,564千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成24年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,016,375	4,496,556	5,157,161	14,670,092	130,441	14,800,533	—	14,800,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	203,624	203,624	△203,624	—
計	5,016,375	4,496,556	5,157,161	14,670,092	334,065	15,004,158	△203,624	14,800,533
セグメント利益	1,743,640	1,973,891	13,870	3,731,402	75,857	3,807,259	△2,839,179	968,080

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,839,179千円には、セグメント間取引消去9,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,848,179千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日）

該当事項はありません。